

(活動報告書様式)

団体名	地方再生NPO百年デザイン研究所		
事業名	漁村の未来フェス☆ロマンチックゆら釣りケーション ×ゆらゆらオンDJタイム♪×浜辺の子ども食堂事業		
助成事業区分	協働助成事業 (テーマ希望型) 【テーマ：イオン・さくらんぼWAON子どもの健全育成支援事業】		
団体の 所在市町村	鶴岡市	事業費	725,655 円
		うち助成金額	685,000 円



### ■事業目的

庄内浜が包容する資源と人財を活用し、その魅力を堪能できる体験事業を多面的に創出することで、地域の子どもたちの健全育成、開催地の活性化、持続可能な漁村のまちづくりを目的とする。また、庄内浜全体の漁港、釣り場、それらを包容する漁村に刺激を与え、元気になっていくことも併せて目的とする。

■実施内容 ※対象はいつでも釣り入門者の親子、場所は海テラス由良および由良海洋釣り堀)

●第1回 令和4年10月23日(土) 「TSURI 道場・SUSHI 道場・ナイトルアーフィッシング・DJ 体験」  
内容：午前は釣り入門者向けに庄内の釣りの歴史をはじめ、釣り道具の扱い方を

レクチャーし、釣り堀にて実釣。釣った魚(主にイナダ)に関しては寿司職人の指導のもと捌き方を覚え、寿司にして握る食育体験を実施。普段は釣り堀が営業していない夜間に釣りをを行い、日中とは違う魚の行動や食性を理解した。地元 DJ による選曲指導や機器操作方法の説明。音楽による自己表現のきっかけ作りとなった。

●第2回 令和4年12月24日(土) 「ワーム道場・子ども食堂」

内容：魚の食性に合わせたワーム(擬似餌)を自作し、ルアーの選び方や魚の生態への理解を深めた。

また、子ども食堂(クリスマス会)においては、地元で採れた鯛のパイ包みや果物のデザートなどにより地産食材の調理方法や料理のバリエーションを学んだ。

●第3回 令和5年2月18日(土) 「木製ルアー道場・子ども食堂」

内容：酒田海上保安部交通課による安全講座(危険な釣り場、救命胴衣の使い方、落水時の救助方法など) 専門家による海洋プラスチ

ック問題の課題や現状・解決策につながる講話。

主原料にプラスチックを用いらず、桐やバルサといった木材を用いたルアー制作体験の実施。

子ども食堂としては、みんな大好きなカレーとサラダがメインとなり、楽しく食卓を囲むことができた。

### ■事業の成果

参加者数は、第1回30名、第2回20名、第3回20名、合計70名と初年度としては盛況となった。

子ども食堂の機能を盛り込むことで、自分で釣った魚の捌き方や、地元食材の調理方法を通して、指導者や参加者同士の交流を深めることができ、他者への思いやりや自己肯定感の向上へ繋げることができた。

### ■今後の展望

次年度以降も、釣り+食+海洋教育を盛り込んだイベントを開催し、深刻化する磯焼け(海藻の減少)の現場を見学したり、海・川・山の関連を探り植樹を行うなどのフィールドワークを通して、釣りだけに留まらない次世代へ豊かな庄内浜を残すための活動を行っていききたい。